

KRC WEB REPORT

KRC ウェブレポート

2005年10月18日号 No.031

今月のキーワード：海外遺跡調査における 3D レーザ技術の活用

徒然想

少々古い話ですが、アテネ五輪、パラリンピックが開催されたとき、それまでは頂上まで石造りの急階段しかなかったアクロポリスに車いす用のエレベーターが設置されました。人類の財産である古代遺跡に、車いすでも訪れる事が可能になったのは大変嬉しいニュースでした。そして今後は、最新の計測技術で正確な 3DCG や図面としてよみがえった様々な古代遺跡を、世界中の人々が WEB を利用して訪れたり、研究のための重要な資料として活用したりするようになるでしょう。その技術は、実際に古代遺跡を訪れた際に味わう大きな感動の素晴らしい伏線となり、また未来へ引き継いでいくべき人類の貴重なデータになると確信しています。



アクロポリスを
宇宙から見ると
(宇宙航空研究開
発機構 HP へ)

KRC TECHNICAL TOPICS

海外遺跡調査における 3D レーザ技術の活用 詳細 [http://www.krcnet.co.jp/f_topics028.htm]

2005年8月、当社はギリシアのメッセネ遺跡、イタリアのポンペイ遺跡において、大学の調査チームと合同で遺跡調査を行いました。海外の遺跡調査では、調査期間に限られるため、最小限の機材により迅速な成果が要求されます。そこで、今回調査では、3D レーザスキャナによる計測を行うことで、広範囲に渡る遺跡の現状を詳細に、かつ短時間で調査可能としました。

メッセネ遺跡調査(熊本大学古代ギリシア建築調査団(団長:伊藤教授))では、これまでの数年間にわたる調査により、広大なメッセネの主神域であるアスクレピオス神域の平面図、立面図等の基本図が作成されています。今回は、新たに3Dレーザにより、現在の遺跡の状況を3次元記録し、過去の図面類との比較・検証を実施しました。

ポンペイ遺跡調査(九州大学ポンペイ遺跡調査団(団長:堀教授))では、ポンペイ遺跡の外周を巡る城壁(延長 3000m)とそれに付随する塔(12基)、門(5門)の計測、及び(財)古代学協会の水道施設調査を支援しました。城壁の計測では、城壁を構成する石材の大きさだけでなく、その傾きや刻印の記録、石質の違いの判別が可能であるか、さらに遺跡のモニタリングへの応用可能性について検証しました。

- - - [詳細はこちら](#)

当該調査は(独)科学技術振興機構の革新技術開発研究事業の一環として行っております。

メッセネ遺跡調査(ギリシア)



メッセネ、アスクレピオス神域



3D レーザ計測状況



計測データ(アスクレピオス神域)

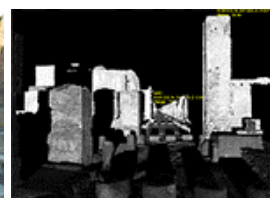
ポンペイ調査(イタリア)



ポンペイ遺跡



3D レーザ計測状況



計測データ(塔)

KRC NEWS

弊社ホームページ「[当社の技術者たち](#)」コーナーに、高橋洋一を紹介しております。ぜひご覧ください。

- [http://www.krcnet.co.jp/f_engineer.htm]

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp ホームページ: http://www.krcnet.co.jp/mail/mail_maga.htm で承っております。